

2019年8月20日
第129号
(Web版第23号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 第46回(2019年度)大会について
- II 講座「犯罪学」のお知らせ
- III 新規委員のご紹介
- IV 第35回日本社会病理学会大会のお知らせ
- V 第19回(2020年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集
- VI 終身会員制度のご案内
- VII 各部・委員会報告

※第107号からニュースレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間1回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 第46回(2019年度)大会について

現在、予定している第46回(2019年度)大会のタイムテーブルにつきまして、以下の通りご報告いたします。

10月19日(土)

9:00～ 受付開始
10:00～12:00 自由報告
12:00～13:10 昼休み
13:10～16:10 テーマセッション
16:25～17:25 総会
17:40～19:25 懇親会

10月20日(日)

9:00～ 受付開始
9:30～12:30 テーマセッション
12:30～13:40 昼休み
13:40～17:10 シンポジウム
17:10～17:20 閉会式

II 講座「犯罪学」のお知らせ

第16期企画調整委員会では犯罪学の普及を目的とした講座の開発に従事してまいりましたが、この度その集大成として、講座「犯罪学」を下記の要領で実施いたします。対象は、「犯罪学」に興味のある学生・実務家などです。会員の皆様におかれましては、奮ってご参加くださいますとともに、興味関心がおありの方々にご周知のほどよろしくお願いいたします。なお、参加申し込み方法等の詳細につきましては、近日中に本学会ならびに共催の龍谷大学犯罪学研究センターのHPにアップいたします。

[会場]

龍谷大学 深草学舎 紫光館4階 法廷教室

[参加費]

早割：一般10,000円、学生8,000円

通常：一般15,000円、学生10,000円

早割は2019年10月20日までに申し込みの方が対象となります。また、申し込み〆切は2019年12月23日までとなっております。

[日程・プログラム]

2020年1月11日(土)

1. イントロダクション(石塚伸一)
2. 犯罪対応の制度(松原英世)
3. 犯罪学の研究方法(岡邊健)
4. 理論①：犯罪学理論への導入(津富宏&上田光明)

5. 理論②：社会解体論（原田豊）

2020年1月12日（日）

1. 理論③：緊張理論・アノミー理論（平野孝典）
2. 理論④：コントロール・ライフコース理論（上田光明）
3. 理論⑤：文化・サブカル・学習理論（齊藤知範）
4. 理論⑥：ラベリング理論（山本功）
5. 理論⑦：階級理論（津富宏）

2020年1月13日（月・祝）

1. トピックス：修復的司法（森久智江）
2. トピックス：少年法（大塚英理子）
3. トピックス：犯罪・非行の歴史社会学的アプローチ（作田誠一郎）
4. トピックス：環境犯罪学（松川杏寧）
5. トピックス：エスニシティ（金尚均）

1の時間帯は 9:30-10:50、2は 11:05-12:25、3は 13:30-14:50、4は 15:05-16:25、5は 16:40-18:00 となります。

Ⅲ 新規委員のご紹介

去る 2019 年 7 月 20 日（土）に開催された第 16 期第 6 回常任理事会におきまして、都島梨紗会員（岡山県立大学）を新たに委員として委嘱することが決定し、同日付で委嘱状が交付されました。都島委員は、機関誌の編集・発行を中心とした編集委員会の業務を主に担当いたします。

Ⅳ 第 35 回日本社会病理学会大会のお知らせ

第 35 回日本社会病理学会大会を下記の通りに開催します。ご関心のある方をお誘いあわせのうえ、奮ってご参加ください。

日程：2019年9月28日（土）・29日（日）

会場：流通経済大学 新松戸キャンパス

プログラム

1 日目：9 月 28 日（土）

10:30～12:20 新旧理事会

12:00 受付開始

12:30～12:40 開会式

12:40～15:00 ラウンドテーブル

15:15～16:45 特別部会「社会病理学者の職業倫理」（佐々木嬉代三先生追悼も兼ねて）

16:50～17:50 総会

18:00～20:00 懇親会

2 日目：9 月 29 日（日）

09:30 受付開始

10:00～12:30 自由報告部会

13:30～16:30 シンポジウム

16:30～16:40 閉会式

内容（テーマ・登壇者）

(1) シンポジウム「地域からの対抗・抵抗・創造」

谷口仁史（認定非営利活動法人 NPO 法人ステューデント・サポート・フェイス／代表理事）

「「どんな境遇の子ども・若者も見捨てない！」アウトリーチ（訪問支援）と重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ～社会的孤立・排除を生まない総合的な支援体制の確立に向けて～」

佐久間裕章（NPO 法人・自立支援センターふるさとの会／代表理事）

「「ふるさとの会」の活動から」

魁生由美子（愛媛大学）

「在日外国人の地域支援—在日コリアン集住地域のコミュニティケアから—」

中根成寿（京都府立大学）

「障害福祉制度は「地域」における生活をいかに変化させたか」

司会：中村正（立命館大学）

(2) ラウンドテーブル「社会病理・社会問題の可能性Ⅲ—事例からの社会的排除を捉える—」

中谷勇哉（京都大学大学院）

「ネット右翼言説拡散の「回路」」

西井 開（立命館大学大学院）

「非モテに見る周辺化された男性の排除とミソジニーについて」

市川岳人（三重ダルク）

「薬物からの回復と当事者の向かう未来」

コーディネーター：佐藤哲彦（関西学院大学）

* 題目については変更される可能性があります。

（日本社会病理学会 渉外・広報担当理事 田中智仁）

V 第 19 回(2020 年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集

日本犯罪社会学会では、犯罪、非行、刑事司法、及び、それらに関連する諸事象に関する社会科学的研究の活性化と発展のため、そして、知的資産の不断の蓄積および学術内容の更なる質的向上のため（特に若手研究者への刺激と登龍門として）、「日本犯罪社会学会奨励賞」を創設し、受賞研究業績を選考し表彰しております。

2020 年度は、著書が選考対象となる年です。2018 年 4 月から 2020 年 3 月までに公表された、原則として満 40 歳以下の会員（受賞時点で会員であること）による著書の自薦・他薦を募集いたします。ノミネートの期限は 2020 年 3 月 31 日（消印有効）です。詳細は学会ホームページの「奨励賞規約」をご覧ください。

自薦・他薦いただく際には、以下の情報を記した書面とともに、選考対象著書を 5 部、学会事務局宛ご送付いただくようお願いいたします。封筒に「奨励賞応募著書在中」とご明記ください。なお、応募された著書 5 部は返却いたしません。

- 1) 選考対象の著者名（フリガナ）、連絡先住所、電話番号、メールアドレス
- 2) 選考対象者の生年月日

- 3) 選考対象著書名、出版社名、出版年月日
- 4) 他薦の際には、推薦者の連絡先住所、電話番号、メールアドレス

日本犯罪社会学会 事務局
〒577-0036 東大阪市御厨栄町 3 - 1 - 35 学術センター U - BOX 2 階

VI 終身会員制度のご案内

本学会では、「終身会員」制度を設けております。

これは、「通常会員として 25 年以上会費を納入した 70 歳以上」の方に申請していただき、理事会の承認を得た方が終身会員として認められる制度です。終身会員として認められた方は、終身の会費として 15,000 円を納入していただきます。

終身会員は選挙権を有し、機関誌への投稿、大会報告の申し込みができます。また、会員動向と大会プログラムも受け取ることができます。ただし、機関誌につきましては実費を頂戴いたします。

詳細につきましては、学会ホームページ内の「終身会員に関する規則」(<http://hansha.daishodai.ac.jp/rule/index.html#shushin>)をご覧ください。申請書式もこちらからダウンロードできます。

学会事務局では、該当される方にこの制度に関してご連絡を差し上げる作業をしております。今後も会員に広く周知していく予定ですが、該当される会員の方はどうぞ申請をご一考ください。

VII 各部・委員会報告

1 研究委員会

第 46 回 (2019 年度) 大会のプログラムを 9 月中旬頃に発送し、皆様のお手元にお届けする予定です。大会への皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会報告要旨集に掲載する原稿形式について、報告者、テーマセッション担当者、大会シンポジウム担当者の別に、テンプレートを、学会ウェブサイトへアップロードいたしております。報告者、テーマセッション及びシンポジウム担当者の方はご確認ください。

2 編集委員会

現在、『犯罪社会学研究』44 号発行に向けた準備を進めております。大会にて会員のみなさまにお渡しできる予定です。

また、『犯罪社会学研究』45 号の自由論文・研究ノートへの投稿締切日は、2020 年 3 月 31 日 (火) です。なお、海外から投稿の場合、2020 年 3 月 31 日 (火) までに到着するようご調整ください。

原稿は HP および最新の既刊号所載の投稿規程に従って、下記住所宛にご送付ください。なお、投稿は随時受け付けております。本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

〈第 45 号自由投稿論文及び研究ノートの募集〉

【自由論文・研究ノートの投稿先】

〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-10 八ッ橋ビル 7 階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

【投稿締切】

2020年3月31日（火）

*投稿にあたっては、投稿時に日本犯罪社会学会の会員である必要があります。投稿者は（共著論文の場合は全員について）、遅くとも投稿締切日までに学会事務局に入会申込書を送達していなければなりません（同日必着）。この要件を満たさない場合は、論文を受理いたしません。現在非会員で、今後投稿を予定されている方はご注意ください。

*編集委員会では、自由投稿論文の英文校閲を行っておりません。そのため、自由投稿論文の英文要旨については、投稿時点で筆者の責任においてしかるべき方法で英文校閲をおこなっていることを投稿の要件といたします。なお、査読過程で英文要旨の修正を求めることがありますので、あらかじめご了承ください。

*海外から投稿の場合、2020年3月31日（火）までに到着するようご調整ください。

*研究ノートでの審査をご希望の場合は、論文の表紙か別紙に明記していただくか、編集委員会に事前にご連絡ください。

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。

<編集委員会事務局>

hanshahenshu16@gmail.com

3 渉外広報委員会

(1) 研究会助成について

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。

詳しくは学会ホームページ(<http://hansha.daishodai.ac.jp/kenkyukai/index.html>)をご参照の上、奮ってご応募ください。

(2) 2019年度日本犯罪社会学会若手研究者海外派遣補助事業の対象者について

対象学会：アジア犯罪学会

対象者：鈴木政広会員

報告テーマ：

和文：自己に対する許しの修復的司法における役割：立ち直りとの関連性に着目して

英文：Role of (self-)forgiveness in restorative justice: Link between restorative justice and desistance

4 本部事務局会計部

会費納入のお願い

まだ2019年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000円

但し、院生会員 6,000円（大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員）

国外会員 7,000円（国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員）

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意ください。

5 本部事務局庶務部

(1) 献本 (2019年4月27日～2019年7月16日現在)

下記の通り献本がありました。ご報告少々、お礼申し上げます。

- ・村山満明著 『東住吉冤罪事件：虚偽自白の心理学』 岩波書店
- ・科学警察研究所著 『科学警察研究所報告』 第68巻第1号

・・・・・・・・・・・・・・・・以上2冊

(2) 会員数 (2019年7月16日現在)

一般会員 452名、名誉会員 14名、終身会員 1名、特別会員 2団体、合計 469名

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間1回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。

事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00-16:00)

FAX : 06-6781-8883

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。